

MITSUBISHI

ダクト用換気扇 居間・事務所・店舗用

取扱説明書

形名

ケール調格子 (-Cタイプ)

VD-15ZX ₆ -C	VD-15ZXP ₆ -C
VD-18ZX ₆ -C	VD-18ZXP ₆ -C
VD-20ZX ₆ -C	VD-20ZXK ₆ -C
VD-20ZXP ₆ -C	VD-23ZX ₆ -C
VD-23ZXP ₆ -C	

ブラウン調格子 (-CBタイプ)

VD-15ZX ₆ -CB	VD-18ZX ₆ -CB
VD-20ZX ₆ -CB	

白木調格子 (-Gタイプ)

VD-15ZX ₆ -G	VD-15ZXP ₆ -G
VD-18ZX ₆ -G	VD-18ZXP ₆ -G
VD-20ZX ₆ -G	VD-20ZXP ₆ -G

低騒音整流スリットインテリアタイプ (-Xタイプ)

VD-15ZX ₆ -X	VD-15ZXP ₆ -X
VD-18ZX ₆ -X	VD-18ZXP ₆ -X
VD-20ZX ₆ -X	VD-20ZXP ₆ -X
VD-23ZX ₆ -X	VD-23ZXP ₆ -X
VD-25ZX ₆ -X	

低騒音整流スリットフリーパワーコントロールタイプ (-Xタイプ)

VD-20ZR ₆ -X	VD-23ZR ₆ -X
-------------------------	-------------------------

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。コントロールスイッチの位置を確認してください。

お客様自身では取付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.
- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに同梱の「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

1.安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因
水かけ禁止	製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因
分解禁止	改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
指示に従う	お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電やけがの原因 交流100Vを使用する 火災や感電の原因

お願い

- スプレー(殺虫剤・整髪用・掃除用など)をかけないでください
グリル・羽根の破損、変質の原因になります
- 高温(40℃以上)になるところに取付けられていないか確認してください。
モーター焼損の原因になります

注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
禁止	本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によりけがの原因 直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤のある場所では使用しない 火災の原因
接触禁止	運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない けがの原因
浴室での使用禁止	浴室など湿気の高い場所では絶対に使用しない 感電および故障の原因
指示に従う	電気工事は必ず電気工事に依頼する 感電の原因 お手入れの後の部品の取付けは確実に 落下によりけがの原因 お手入れの際は手袋を着用する けがの原因 長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因

お客さま用

2.使用方法

運転と停止

強・弱 切換えなし	強・弱 切換えあり
<p>電源スイッチ</p> <p>ランプ</p> <p>左側を押す 停止 (ランプ消灯)</p> <p>右側を押す 運転開始 (ランプ点灯)</p> <p>VD-15ZX₆、15ZXP₆、18ZX₆、18ZXP₆、20ZX₆タイプ</p>	<p>電源スイッチ</p> <p>ランプ</p> <p>左側を押す 停止 (ランプ消灯)</p> <p>右側を押す 運転開始 (ランプ点灯)</p> <p>風量切換スイッチ</p> <p>左側を押す 弱運転</p> <p>右側を押す 強運転</p> <p>VD-20ZXK₆、20ZXP₆、23ZX₆、23ZXP₆、25ZX₆タイプ</p>

- 強・弱切換えがあるタイプの換気扇でも、強か弱に固定して施工されていることがあります。その場合は強・弱切換えなしの操作方法で運転してください。
- これらのコントロールスイッチ以外に、市販のスイッチを使う場合もあります。

フリーパワーコントロールタイプ

(本体内部または、壁取付の風量調整ボリュームで、風量を25%~100%に設定可能です。)

コントロールスイッチ P-10SWが設置されている場合	ファンコントローラ P-01RU(システム部材)が設置されている場合
<p>風量調整ボリューム (本体内部)</p> <p>ボリュームカバー</p> <p>風量調整ボリューム (MIN(最小)・MAX(最大))</p> <p>左側を押す 停止 (ランプ消灯)</p> <p>右側を押す 運転開始 (ランプ点灯)</p> <p>VD-20ZR₆-X VD-23ZR₆-X</p>	<p>風量調整ツマミ (MIN(最小)からMAX(最大)の範囲で好みの位置に回します。MIN(最小)・MAX(最大))</p> <p>電源スイッチ</p> <p>左側を押す 停止 (ランプ消灯)</p> <p>右側を押す 運転開始 (ランプ点灯)</p>

- ④.お手入れ①取り外し方を参考にグリルを外します。
- ②ボリュームカバーを外してから好みの風量に調節します。
- ③ボリュームカバーを元の位置に取付けてください。
- ④.お手入れ②取付け方を参考にグリルを取付けます。
- 指などけがをしないよう手袋の着用をおすすめします。

- お願い ●風量調整するときは羽根が回っていますので接触しないよう十分注意してください。
- 風量調整ボリュームに強い力を加えないでください。内部の電子部品を破損する原因になります。
- 風量調整ツマミの機能上、MINまたはMAXの近くでは羽根の回転(風量)が変わらないことがあります、異常ではありません。
- ファンコントローラP-01RUが設置されている場合、本体内部の風量調整ボリュームでの風量調整は出来ません。
- 風量調整をMIN(最小)にしたとき、スイッチのランプの点灯が薄くなりますが、異常ではありません。

3.グリルの調整 (-C・-CB・-Gタイプのみ)

-C・-CB・-Gタイプはグリルの取付け方向を90° 変えることができます。グリルについているバネの位置を90° 変更してください。



-C・-CBタイプの場合

- ① バネ引掛金具をベンチなどで開いて、バネを外します。
 - ② 90° 変えた位置にあるバネ引掛金具にバネを取付けてください。
- (※グリルの密着度を調節することができます。)
- 上側の取付け (工場出荷時) 下側の取付け (密着強) 開いたバネ引掛金具にバネを差込み閉じます。

MITSUBISHI

ダクト用換気扇 居間・事務所・店舗用

取扱説明書

形名

ケール調格子 (-Cタイプ)

VD-15ZX ₆ -C	VD-15ZXP ₆ -C
VD-18ZX ₆ -C	VD-18ZXP ₆ -C
VD-20ZX ₆ -C	VD-20ZXK ₆ -C
VD-20ZXP ₆ -C	VD-23ZX ₆ -C
VD-23ZXP ₆ -C	

ブラウン調格子 (-CBタイプ)

VD-15ZX ₆ -CB	VD-18ZX ₆ -CB
VD-20ZX ₆ -CB	

白木調格子 (-Gタイプ)

VD-15ZX ₆ -G	VD-15ZXP ₆ -G
VD-18ZX ₆ -G	VD-18ZXP ₆ -G
VD-20ZX ₆ -G	VD-20ZXP ₆ -G

低騒音整流スリットインテリアタイプ (-Xタイプ)

VD-15ZX ₆ -X	VD-15ZXP ₆ -X
VD-18ZX ₆ -X	VD-18ZXP ₆ -X
VD-20ZX ₆ -X	VD-20ZXP ₆ -X
VD-23ZX ₆ -X	VD-23ZXP ₆ -X
VD-25ZX ₆ -X	

低騒音整流スリットフリーパワーコントロールタイプ (-XRタイプ)

VD-20ZR ₆ -X	VD-23ZR ₆ -X
-------------------------	-------------------------

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。コントロールスイッチの位置を確認してください。

お客様自身では取付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

- ・この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.
- ・正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに同梱の「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

1.安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因
水かけ禁止	製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因
分解禁止	改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
指示に従う	お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電やけがの原因 交流100Vを使用する 火災や感電の原因

お願い

- スプレー(殺虫剤・整髪用・掃除用など)をかけないでください
グリル・羽根の破損、変質の原因になります
- 高温(40℃以上)になるところに取付けられていないか確認してください。
モーター焼損の原因になります

⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
禁止	本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によりけがの原因 直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤のある場所では使用しない 火災の原因
接触禁止	運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない けがの原因
浴室での使用禁止	浴室など湿気の高い場所では絶対に使用しない 感電および故障の原因
指示に従う	電気工事は必ず電気工事に依頼する 感電の原因 お手入れの後の部品の取付けは確実に 落下によりけがの原因 お手入れの際は手袋を着用する けがの原因 長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因

お客さま用

2.使用方法

運転と停止

強・弱 切換えなし	強・弱 切換えあり
<p>電源スイッチ</p> <p>ランプ</p> <p>左側を押す 停止 (ランプ消灯)</p> <p>右側を押す 運転開始 (ランプ点灯)</p> <p>VD-15ZX₆、15ZXP₆、18ZX₆、18ZXP₆、20ZX₆タイプ</p>	<p>電源スイッチ</p> <p>ランプ</p> <p>左側を押す 停止 (ランプ消灯)</p> <p>右側を押す 運転開始 (ランプ点灯)</p> <p>風量切換スイッチ</p> <p>左側を押す 弱運転</p> <p>右側を押す 強運転</p> <p>VD-20ZXK₆、20ZXP₆、23ZX₆、23ZXP₆、25ZX₆タイプ</p>

- 強・弱切換えがあるタイプの換気扇でも、強か弱に固定して施工されていることがあります。その場合は強・弱切換えなしの操作方法で運転してください。
- これらのコントロールスイッチ以外に、市販のスイッチを使う場合もあります。

■フリーパワーコントロールタイプ

(本体内部または、壁取付の風量調整ボリュームで、風量を25%~100%に設定可能です。)

コントロールスイッチ P-10SWが設置されている場合	ファンコントローラ P-01RU(システム部材)が設置されている場合
<p>風量調整ボリューム (本体内部)</p> <p>(MINからMAXの範囲で好みの位置に回します。MIN(最小)・MAX(最大))</p> <p>ボリュームカバー</p> <p>風量調整ボリューム (ランプ消灯)</p> <p>左側を押す 停止 (ランプ消灯)</p> <p>右側を押す 運転開始 (ランプ点灯)</p> <p>④4.お手入れ①取り外し方を参考にグリルを外します。 ②ボリュームカバーを外してから好みの風量に調節します。 ③ボリュームカバーを元の位置に取付けてください。 ④4.お手入れ②取付け方を参考にグリルを取付けます。 ●指などけがをしないよう手袋の着用をおすすめします。</p>	<p>風量調整ツマミ (MINからMAXの範囲で好みの位置に回します。MIN(最小)・MAX(最大))</p> <p>電源スイッチ</p> <p>ランプ</p> <p>左側を押す 停止 (ランプ消灯)</p> <p>右側を押す 運転開始 (ランプ点灯)</p> <p>VD-20ZR₆-X VD-23ZR₆-X</p>

- お願い
- 風量調整するときは羽根が回っていますので接触しないよう十分注意してください。
 - 風量調整ボリュームに強い力を加えないでください。内部の電子部品を破損する原因になります。
 - 風量調整ツマミの機能上、MINまたはMAXの近くでは羽根の回転(風量)が変わらないことがあります、異常ではありません。
 - ファンコントローラP-01RUが設置されている場合、本体内部の風量調整ボリュームでの風量調整は出来ません。
 - 風量調整をMIN(最小)にしたとき、スイッチのランプの点灯が薄くなりますが、異常ではありません。

3.グリルの調整 (-C・-CB・-Gタイプのみ)

-C・-CB・-Gタイプはグリルの取付け方向を90° 変えることができます。グリルについているバネの位置を90° 変更してください。



-C・-CBタイプの場合

- ① バネ引掛金具をペンチなどで開いて、バネを外します。
 - ② 90° 変えた位置にあるバネ引掛金具にバネを取付けてください。
- (※グリルの密着度を調節することができます。)
- 上側の取付け (工場出荷時)
- 下側の取付け (密着強) 開いたバネ引掛金具にバネを差込み閉じます。